

坂出ニューポートプラン（案）パブリックコメントの結果

1. パブリックコメントの実施状況

(1) 意見募集期間

令和元年7月5日（金）～8月5日（月）

(2) 意見の受付件数

2人（3件）

2. 意見の概要と市の考え方

No	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	RORO船の新規就航については一部企業にとっては便利であり、生産性向上につながることもあるがそれによる波及効果は未知数。	坂出北インターチェンジのフルインター化など坂出港背後の道路ネットワークの充実や、トラックドライバーの不足・高齢化に伴う貨物の陸上輸送から海上輸送への高まりを踏まえてRORO船等の誘致に取り組むものであります。このことにより、坂出港背後企業の物流コスト削減、物流の安定化、生産性の向上など企業の競争力強化につながり、直接・間接効果による好循環をもたらすものと考えています。

No	意見の内容	意見に対する市の考え方
2	<p>にぎわい創出の取組でクルーズ船の誘致やイベント開催、ウォーターフロントの民間による再開発については、経済効果は期待できるが、これが継続的な坂出市の発展に寄与するのか試算されたのか。坂出市の高齢化、人口減少が他自治体と比べて進んでおり、若者の転出、多くの優秀な企業があり働く場所がありながら坂出市に住まない住めない現状（昼間人口が多い）、全国的に人口が減る中でどこを目指すか、坂出市のまちづくりや都市計画等々のプランもある中でそれぞれ連携してないようなプランが林立しているような感じです。</p> <p>まずは坂出市の目標を決める、例えば</p> <p>①人口減少、高齢化を今後10年で全国平均又は香川県平均まで回復させる</p> <p>②昼間人口を目標7万、交流人口〇〇人とする</p> <p>③津波浸水被害地域を0にする</p> <p>ということになればおのずと施策が見えてきて、その中で坂出港の活性化が見えてくるのではと思います。市民の貴重な税金を有効、効果的に使っていただくよう要望します。</p>	<p>人口減少を防ぐ施策を行っていくものの、定住人口減少は我が国全体の状況となっています。政府は観光立国を目指しており、成長戦略、地方創生の鍵として観光交流人口拡大を図っています。観光産業は、我が国の基幹産業である自動車、化学に次ぐ第3の輸出産業となっています。今後も観光交流人口は引き続き拡大していくものと考えており、坂出市においても、これらを取り込むとともに、市民の賑わい、憩いの場としても活用していきたいと考えています。</p> <p>市政の最上位の方針となる「坂出市まちづくり基本構想」を平成28年3月に策定し、まちづくりの将来像として「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち さかいで」と定めています。基本構想に掲げるまちの姿を実現すべく各分野の個別計画を推進しますが、いずれの施策・事業も基本構想に示す理念や基本目標との整合性を保ちながら推進することとしています。また、都市計画に関する基本的な方針を定める「坂出市都市計画マスタープラン」では、本市の臨海部を含めた地域づくりの方針を示しており、「坂出ニューポートプラン」はこれらの計画と連携し、港湾に関して、より具体的な計画として策定したものです。</p> <p>目標を決定することにつきましては、貴重なご意見、大変ありがとうございます。</p> <p>今後の計画等の際に参考とさせていただきます。津波浸水につきましては、現在、香川県地震津波対策等整備計画に基づき、順次緊急性のある箇所から実施しています。</p> <p>市民の皆様の貴重な税金を有効、効果的に使用していきます。</p>
3	<p>昨年坂出に引越してきましたが、瀬戸大橋や瀬戸内海に浮かぶ島々を楽しむクルーズツアーがないことが、とても残念です。是非クルーズができるようにして頂きたい。例えば、①ランチクルーズやディナークルーズ、②サンセットクルーズした後、香川名産のオリーブ牛や新鮮な魚やうどんが食事できるコース、③モーターボートで周遊。</p> <p>また、他県からのバスツアーに坂出がもりこまれるよう頑張ってください。</p>	<p>瀬戸大橋や瀬戸内海の島々、瀬戸内国際芸術祭、産業・文化・芸術など坂出市の魅力ある観光資源をPRしてクルーズやバスツアーが実現するよう努めていきたいと考えております。</p>

問合せ先
建設経済部みなと課
電話 (0877) 44-5010
FAX (0877) 44-0086